



保護した猫の譲渡会の様子



今月のFujimist

猫の殺処分ゼロを目指して

「より多くの人にさくら猫活動を知ってもらいたい」と語るのは、飼い主のいない猫に対して、不妊去勢手術を行うことで新たに飼い主のいない猫が生まれることを防ぎ、猫の殺処分ゼロを目指すさくら猫活動に取り組む「富士見さくら猫応援団」で代表を務める小菅悦子さん。

小菅さんは約10年前に個人でさくら猫活動を始め、そのなかで富士見さくら猫応援団の写真展を見たことがきっかけで富士見さくら猫応援団と一緒に活動を行うようになり、令和3年に富士見さくら猫応援団の代表に就任した。

これまでの富士見さくら猫応援団の取り組みの成果もあり、市内では飼い主のいない猫の数は減少傾向にあるものの、令和7年は166件の不妊去勢手術を行っている。

手術を行った猫に対しては、新しい飼い主とマッチングするための譲渡会を数多く開催し、令和7年は130頭の猫が新しい家族と出会うことができた。また、「地域猫」として、その猫が暮らしていた場所の近隣の方が餌やりなど

こすぎ 小菅 悦子さん (富士見さくら猫応援団)

富士見さくら猫応援団 ☒ fujimisakuraneko@gmail.com

☎ シティプロモーション課 ☎ 049-256-9535

を行ってくれることもあるといい、小菅さんが再びその場所を訪れた際に、久しぶりに会う猫が元気に暮らしている姿を見ることが嬉しいと語る一方、全ての猫に新しい飼い主や餌やりを行ってくれる人が見つかるものではないため、不安を募らせることも多いという。

目標はさくら猫活動をしなくてもよい社会

猫の殺処分ゼロを目指す富士見さくら猫応援団のボランティア活動に対し、地域社会の発展と振興の功績が称えられ、令和8年富士見市表彰式において功労表彰を受けたことについて小菅さんは「富士見さくら猫応援団を立ち上げた方たちの努力があってこのような結果になったことはとてもすごいことだと感じている。これをきっかけにさらに多くの人にさくら猫活動のことを知ってもらい、不妊去勢していない野良猫がいた場合は相談してほしい。そしていつか、さくら猫活動をしなくてもよくなる社会を目指したい」と語り、これからも猫の殺処分ゼロを目指して活動していく。

■市公式
ホームページ



■ SNS



LINE
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で



【マチイロ】広報「富士見」をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴



Fujimist募集

市内在住、富士見市出身の方などで活躍されている方を募集しています。自薦・他薦は問いません。



みんな笑顔☆ふじみ ☎ 049-251-2711(代)

FAX 049-254-2000
〒354-8511
富士見市

富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

広報「富士見」(毎月1日発行)は、市内の公共施設や駅などにも置いてあります。声の広報「富士見」(音声DAISY(ダイジー)版)は市内図書館で貸し出ししています(市ホームページで詳しくご紹介します)。

